

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1072
施設名	松島おひさま保育園
施設所在地	江戸川区松島2-30-17
法人名	社会福祉法人えどがわ

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然（砂・土）

<テーマの設定理由>

いつも遊んでいる園庭の砂、硬いの柔らかいの？そんな言葉から始まった遊びを遊ぶだけでなく感じてみる事が出来たらと考えた。

## 2. 活動スケジュール

- ・砂、土の感触や色の違いに気づく、水を入れたらどうなる？裸足で歩いてみよう
- ・暑くてたくさん砂が水を飲んだらどうなる？泥でお団子作ってみよう
- ・サラサラの砂と濡れた砂で何が出来るかな？どうやって遊ぶ？
- ・おひさまの光で干したら、泥はどうなる？
- ・砂、土の大きさ、音ってどんな音？

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

砂・水・ジョーロ・シャベル・じょうご・ライトテーブル

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・雨上がりに裸足で園庭へ出て土と砂の感触を足で感じ、手でも触れてみる
- ・雨の日に園庭にでて水たまりに入ったり、泥んこ入ってみたりする・
- ・濡れた砂と乾いた砂でお団子作り
- ・砂場に大きな水たまりを作って、泥んこ遊びをする

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・雨上がりの砂場で「おひさまご飯食べたから太っちょになって重いよ」
- ・雨上がりの砂場とおひさまの砂場では、雨上がりの方が型抜きやお団子が作りやすいと気づく
- ・裸足で地面を歩く事で「雨がいっぱいびちゃびちゃ」「泥」「ヌルヌル」と感じる。乾いた地面は硬くて「足が痛い」と気づく



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

成長と共に考えるが加わり、砂場以外の場所で白砂探しが始まったり、日光のあたりによって、温かい土（場所）がある事を知ったり、ライトテーブルの上ののせる事で、砂粒の大きさがある事を知る。砂、土の域を超えて様々な気づきに繋がる事を実感した。子どもの何気ないつぶやきをを素早くキャッチし、次のステップに繋げる大切さを改めて感じる事ができた。自然から感触、光など様々に変化する子どもたちの声に対応することがわくわくした活動に繋げる事が出来ると感じた。